



この美しい自然を守ることが、人類を救う！！

「あの巨大震災から“天からの黙示”を感じ取ろう」 理事長 堀江 孝男

「3・11」の超巨大地震（東日本大地震）から、もう3年が過ぎました。歴史に残る正に未曾有の罹災でありましたが、復旧に立ち向かわれる毅然とした多くの方々の姿は、他人を思いやる慈悲の心であり、心からの敬意と尊敬の誠を表したい。

翻って、超巨大地震と大津波は深刻で悲惨な原発事故を誘発した。原発事故は、当初は自然災害に依るものと思われていたが、あれは単なる自然災害によるものではなく、寧ろ「人災ではないか」と国民の多くは思うようになってきた。

私はここで「原発の功罪」を問う意志はない、只、天災は予期する事も確実に避ける事も難しいが、「人災は絶対に避けねばならない」と思うのであります。

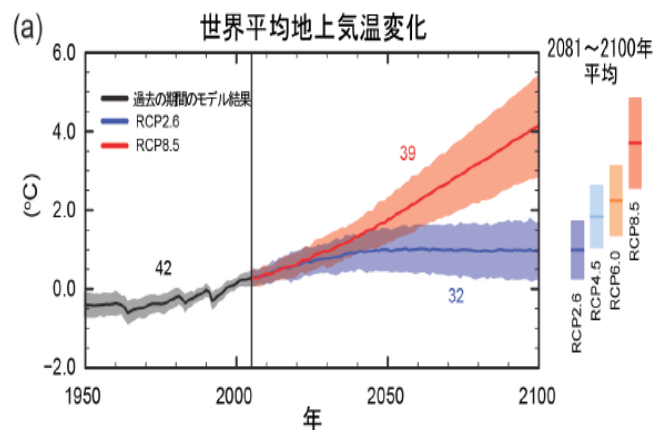
話は大きく逸れますが、ユダヤ教・キリスト教を信じる多くの欧米人は「人は自然を支配せねばならない(旧約聖書の創世記 第1章に、ユダヤ教・キリスト教の自然観を明確に示している)」と、幼い頃から教えられていると聞きます。

故に、あの「東日本大震災」に対しても、日本では「自然災害・天災だから残念ながら仕方ない」と諦める、しかし、欧米人は「あれは人災だ」と言う。

多くの仏教徒が知る教えの中に、「諸行無常」があり、自然の摂理だから逆らっても詮無いこととの教えがあるが、欧米人は「自然を支配せよ」の教えを守って「天災を人災とすり替えてはならない」と考える様であります。

世界の国々の「地球温暖化への取り組み姿勢」を俯瞰すると、欧州各国の姿勢の方が、その取り組みはより真摯で積極的に思えるが、これは人としての根本的な自然災害に対する姿勢の違いなのか、とも思いたくなります。

図1 平均気温の変化予測 (IPCC第5次報告)



話は戻り、今年の5月、IPCC(IPCC:気候変動に関する政府間パネル(Intergovernmental Panel on Climate Change))の5次報告は極めて厳しい報告であった。又、遅ればせながら我国環境省の報告も6月初旬にあり、「このまま温暖化が進行すると、今世紀末の日本は、平均温度で**4・4℃まで上昇する**」とIPCCの5次報告とほぼ同じ厳しい内容が報じられており、多くの方が目にされたことと思います。

この前後に、環境保全関わる多くの方々と、現状改革の意見交換などをしたが、恰も「**正常性バイアスに呪われた様に**(正常性バイアス:認知心理学の分野で、危機に直面した人間は、明らかに甚大な被害が想定されるにも関わらず「まさかそこまででないであろう、、、」「未だ大丈夫、、、」等と、事態を過小にする心の動きをいう)身を縮めておられる方々が、多かったように思えて為らなかった。

5月中旬の当協議会総会後の特別講演会で、岐阜大学・長谷川名誉教授の「IPCC第5次評価報告書(SPM(政策決定者向け要約))」に関わる膨大な資料から、丁寧に要約されたお話をお聴きし、**残された時間を有効に使わねばと、改めて強く思ったのであります。**

当、協議会は自らの意志で「美しく、人にやさしい地球環境の保全に努める」との高邁な精神のもとで集まった、環境カウンセラーの集団であります。会員各位の色々な思い、考え方は有ると思いますが、活動の原点を「**地球温暖化は天災ではなく、確実に人災である**」と捉え、純粹に「人災は人が解決するのだ」と、決意する事から始めることだと思えます。その為に「**在りとあらゆるものを味方にし(神をも味方にし)**」と、新たな思いを秘めて、各会員が意識改革と、日々の活動に努力せねばならないと思う日々であります。

EA21 取組事業者の活動事例

トヨタ部品岐阜共販株式会社様では、三行提報システム*を活用して「下意上達」「情報・活動の見える化」「共有化」を図り、経営全般における業務改善に効果を上げ、エコアクション21における取組にも活用されています。

*従業員が経営トップに直接報告しトップがそれに応える

サトーホールディングス株式会社の社内コミュニケーションツール

エコアクション21ガイドライン2009年版における「8. 環境コミュニケーションの実施」では、「組織における内部コミュニケーションは、エコアクション21に効果的に取り組むための重要な手段です。…中略…情報を従業員に提供するとともに、従業員からの意見を受け付ける等、双方向に情報をやりとりします。」と解説をしています。この内部コミュニケーションの一つの手法として大変参考になる事例です。

以下はトヨタ部品岐阜共販株式会社様からご提供していただいた資料をそのまま掲載しました。

なお、詳細な資料を当協議会 H.P(<http://www.gifu-ec.jp/>)のエコアクション21>認証・登録事業者様からの便りに掲載しましたのでご参照ください。

図2 岐阜市の平均気温の推移

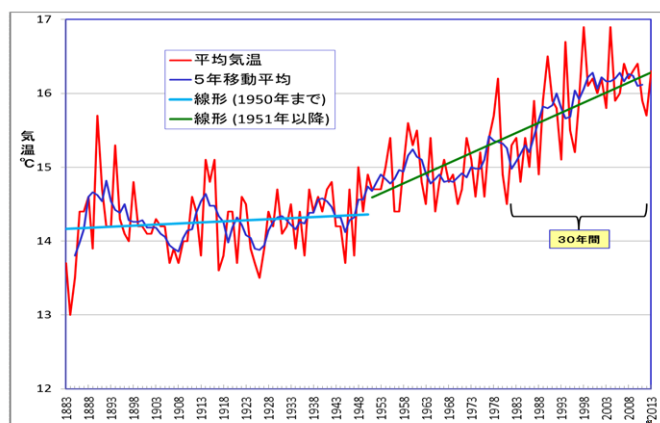


図-1、2は、5月の当協議会総会時「特別講演会」時の資料をお借りしました。

「岐阜市の温度も確実に上昇しております」

三行提報システムを活用した環境への取組みのご紹介

トヨタ部品岐阜共販株式会社

(1) 三行提報システムの導入 【2011年6月運用スタート】



三行提報とは？

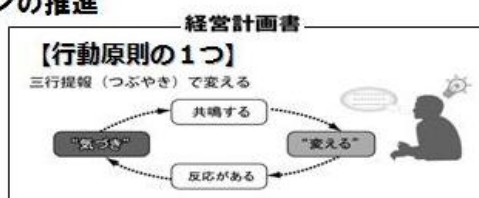
全社員が、3行(127文字以内)で
「会社を良くする創意・工夫・気付いたことの提案や考えとその対策の報告」
経営トップに毎日提出し、トップがそれに応えるコミュニケーションツール

当社導入の狙い

気づき・思い・工夫の共有化により、より良い会社・職場風土づくりを推進

- 市場情報のリアルタイム化による経営反映
- 気づきから創意工夫へ繋がる改善活動（下意上達）
- 情報共有による組織コミュニケーションの推進
- 文章作成技術と提案力の向上
- 提出資料の削減と共有化
- アンケート収集への活用
- E S向上（会社との一体感）

見える化



(2) 提報に求められる内容

テーマ	内容
業務活動全般	全部門業務活動 成功事例、敗戦事例、お試し事例など
業務での困り事	業務上の困り事、悩み事相談など
改善要望	気づき、気になる、できたらいいな、困った 事など
改善報告	こんな改善をしています、こんな効果が出ました（良いも悪いも）など
市場（耳より）情報	世間の 競合他社、取引先、お客様関連の情報 あるいは「また聞く＝へえ～？ ホント～?! など
お客様の声	お客様・関連会社からの 苦情・グチ・要望・お叱り そして 感謝・お褒めの言葉 など
安全・安心・品質・CSR	人や社会の安全・安心・コンプライアンス・ 環境問題・環境取組み・業務品質に関わる気づき
アンケート回答	アンケート投げかけへの回答
経営理念・情緒	経営理念・経営方針・行動指針に関する事
その他	上記に該当しない項目

(3) 入力画面イメージ

【対象】正社員・嘱託（契約・パート希望者）

【提出要日数】月曜日～金曜日の稼働日数

【提出日】出勤日全て

社長とトップの心をつなぐ
三行提報

2014年3月27日 TOP DB検索 控除申請 HP Link 個人集計 結果表 提報生件参照 パスワード変更 Q&A マニュアル 管理者機能

2014年02月度 TOP

要日数 19 対象月度 2014 年 2 月度 表示

控除数 0

提出数

残り

提出率

提報番号	日付	提報テーマ	提報PT	ナレッジPT	指示先
1402200083	2014/02/20	安全・安心・品質・CSR	12	0	SAV4

社長指示未読
新着情報
回答・進捗依頼
評価依頼
社長コメント
それは知りませんでした 告知していただいているんですね 良かったですね【(^.^)】

前月のチーム提出率 100.0 %

4つのキーワード

- 創意: これまでなかったアイデアを思い浮かべたこと、新しいアイデア。
- 気付き: 何かを気づくことで得られる発見。
- 対策: 課題に対して立てる対応の手段。
- くふう: 色々と考えて、よい手段を見出すこと。考え出した方法・手段。

③ 有

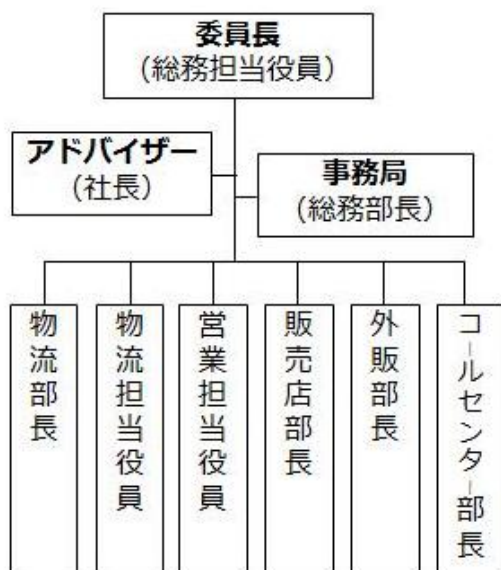
1

削除日
控除申請中
提報登録済み
一時保存中の提報有り

【締切】月初稼働2日迄（土日を除く）
【目標】提出率 100%

(4) 三行提報委員会（毎月月初に開催）

【委員会を提報統括部門として、活動・情報の集約・管理と経営反映】



<取組内容>

- ◆ 三行提報制度（成果反省）と評価確認
- ◆ 提出状況の把握フォロー
- ◆ 指示に対するアクション状況フォロー
- ◆ 気になる提報（役員・部長）の経営反映
- ◆ 提出内容のアンケート活用化
- ◆ 提報改善報告審査

環境に関する提報状況
(2013年4月～2014年3月)

365件 / 提報全数23,150件

(5) 提報報告された内容(一部抜粋)

- ・UC店に出庫されているバッテリーの件ですが以前よりカスタムが出されています。中古車も最近は充電制御システム車が多くなっているのに以前として旧来の商品が出されています。折角お客様がエコカーを購入されてもエコの性能を100%生かされないのでは?購入ユーザーには目に見えない品質向上になると思います。
- ・4/18に営業所の危険物施設の立入り検査があり、20年2月に少量危険物に該当する指定数量の倍数変更がされ、今後も貯蔵量が変わらなければ廃止手続きを行うよう指摘がありました。今後在庫量が増えても問題がないよう4/24に倍数変更手続きをしました。
- ・5月に入り今年もクールビズの実施を始めた企業が有るようです。東北の震災からの影響で原子力問題による電力不足が重要な問題が今年も続くと思われるので電気・エアコン等の使用を考えエコアクション21を所員皆で推進し協力していきたいと思います。
- ・ペーパーレスFAXIになってから用紙の削減だけでなく、ボールペン・修正テープ・蛍光ペン・印鑑のインクなどの購買依頼が減りました。今の所は代わりに必要になったものもありません。いろんな相乗効果があって良かったと思います。
- ・オイルポンプのホースが亀裂や折れ等があったので、本日、営業所内で修理しました。少しずつ折れてきてはいましたが、先日少し亀裂がある事が築き早急に修理しました。ホースなど劣化商品ですので、日頃から気を付けて何かおきてからでは遅いので異常がないか気を付けていきたいと思います。
- ・今年もそろそろエアコンを使用する時期になってきました。ここ数年は節電が当たり前になってきているので設定温度にも常に気を使って低すぎない温度で設定したいと思います。使用していない電気も小まめに消して節電に努めたい。
- ・土曜日に岐阜新聞主催トヨタ協賛のアクアソーシャルフェスティバルin長良川に家族で参加しました。100名を超える人達が河川敷でゴミ拾いをして、その後鮎の放流をしました。清掃活動は1時間でしたが子供達も楽しく参加できました。
- ・エコアクション21について勉強会がありました。業務でオイルを取り扱う機会があるので漏れた時の対処法が再確認が出来良かったです。ISOと同じ様に電気・エアコン等の使用量を意識し環境にも目を向けて活動したいと思います。
- ・総務部よりライトダウンキャンペーンの案内がありました。所員の方には、効率化を図りメリハリを付けて退社時間の早期化を進めています。今回のキャンペーンを機会に更に効率化進め、働きやすい職場環境を作っていきたいと思います。
- ・6月に毎年実施の消防設備点検においてG員から消火栓について確認があったので消防署に指摘され設置した経緯と元々消防法で床面積が1400㎡以上ある場合は設置義務があり本社、岐阜、大垣が対象である旨を説明させて頂きました。
- ・来月はコンプライアンス強化月間としてト販協CSRガイドラインチェックやエコアクション21内部監査を実施します。内部監査はISO認証返還後初めての監査で特に法令順守が気になりますので、しっかりとしたチェックが望まれます。

会員の活動報告

身近な自然の素晴らしさを伝えること、それが私の自然保護

市民部門活動報告 西美濃わんぱく自然クラブ 窪田 一仁

身近な自然の素晴らしさを少しでも多くの方に伝え、自然に親しみ、自然を大切にする心を育てる事が一番の自然保護につながるとの思いで、身近な自然観察を多くの小中学校や子供会、地域の自治会などで行ってきました。今回そんな活動の一環で6年前からはじめた西美濃わんぱく自然クラブの活動について報告させていただきます。

当クラブは、大垣市内の小学生児童とその保護者を中心に、大垣市内で唯一の里山が残っている青墓の憩いの森で毎月1回以上、土、日曜日の午前中を基本に活動しています。

主な活動は、四季を通じた自然観察ですが、ほかにも自然体験活動や若狭湾での合宿、またふるさと自然展の開催、さらに昨年からは環境省の生物多様性調査と多彩な活動を楽しんでいます。

四季の自然観察

春から初夏には、昆虫ウオッチングで春の草花にやってくるモンキアゲハやカラスチョウやオトシブミのゆりかご作りを観察しました。

初夏からは、川に出かけお魚ウオッチングやカワゲラオウッチングをします。上石津町の牧田川では、アカザやアジメドジョウなどの清流にすむ希少種も多く観察しました。

秋から冬にはバッタやトンボの採取観察や木の実草の実ウオッチングでは、ドングリを拾ったり、ヤマノイモのむかごを試食したり、ひつつきむしなど様々な木の実草の実がいろいろな方法で子孫を広げている戦略を観察しました。また、ナイトウオッチングとし、夜の森にクワガタ探しや、シカやキツネなどの意外と身近に多くの生き物が生活していることを観察してもらいました。

秋から春先には、バードウオッチングとし冬鳥やカモ類、農耕地にやってきている猛禽類のチョウゲンボウやノスリなどの狩り様子を観察しました。



自然体験活動

自然体験活動では、皆で竹を切りだし基地を作ったり、竹トンボや弓を作り遊んだりまた、8月には、自分たちで作ったいかだによる川下りのレースに毎年参加したりしています。また、夏休みには、国立若狭湾青少



年自然の家に宿泊体験を行い、目いっぱい海の自然を満喫しています。この合宿は、海の生き物観察と会員相互の交流の場としています。シュノーケリングでウニやヒトデなどを観察したり、磯釣り体験で、ベラ、アイナメ、フグなど様々な魚を釣り上げたり、また、夜にはナイトウオッチングで海岸に出かけイソガニ、サザエ、ウミウシなど思わぬ生き物に出会ったり、また、子供は、自分たちだけの部屋で宿泊する楽しみも加わりもっとも人気の体験活動となっています。

ふるさとの自然展開催

2011年から毎年、市の学習施設で、観察会で見たり、採取したり生き物を会員以外の人にも見て頂こうと、ふるさと自然展を開催しています。ふるさとの自然展は、季節に応じ、展示内容を代え、年間を通し行います。出来るだけ実物を展示し、魚、カエル、クワガタ、バッタ、チョウの幼虫などは飼育展示とし、会員が当番で飼育管理もしています。また、展示には一般の方でも持ち込んでもらえるよう参加型の展示としています。植物展示では、ドングリ、松ボックリ、つる植物、キノコなどの実物展示。チョウ、トンボ、ハチ、甲虫などは、標本展示を。野鳥、哺乳類は、写真や羽、骨格標本のなどの展示とし、ふるさとの様々な生き物の展示も行い、会員の活動発表・会員拡大の場としても有意義な企画となっています。



生物多様性調査・モニタリングサイト1000登録

小学生卒業後も活動を継続したい会員(中学生・高校生)を対象に、昨年から新たにモニタリングサイト1000里地調査を開始しました。この調査は、環境省の生物多様性センターの事業で、全国の里山里地の生態系の変化を把握するため、市民のボランティアで長期的な定点観察を行うものです。5年間を一区切りとし

行われ、昨年第3期の追加募集がありましたので継続会員のスキルアップをめざし公募し、一般サイトとして登録されました。全国の登録地点174地点・岐阜県では5か所目の登録となりました。

登録「サイト番号 S202 サイト名 青墓憩いの森周辺」

この調査は、全国一律の調査マニュアルに基づき、9項目から自由に選択できるようになっています。当クラブは、鳥類、チョウ類、カエル類、カヤネズミの4項目を選択し調査を開始しました。鳥類では繁殖期と越冬期に所定のコースを6回、チョウ類では、春から秋まで、毎月2回の調査とそれぞれの項目別にマニュアル通りに行いました。会員のスキルアップとともに貴重なデータが取れるものと期待しているところです。

今後も身近な自然にこだわり、その素晴らしさを少しでも多くの人に紹介できる活動を続けていきたいと思っています。

EA21の概要 シリーズ その3 エコアクション21の3つの特徴

1. 取り組みやすい環境経営システムです

エコアクション21では、中小事業者でも取り組みやすい環境経営の仕組み(環境経営システム)のあり方を定めています。環境経営システムに取り組むと、「全員参加の取り組みが進む」、「取り組む目標が明確になって達成の意欲がわく」、「目標が達成できなかった場合も、原因を明らかにできる」、「年々継続的に改善できる」など、工場や事業所の様々な問題の改善に役立ちます。

2. 具体的な環境への取り組みを求めています

エコアクション21では、環境経営にあたり、必ず把握すべき環境負荷として、二酸化炭素排出量、廃棄物排出量、総排水量、化学物質使用量を挙げています。また、それらを削減するための取り組み例や本業における環境への取り組みについて分かりやすく記載しているため、環境パフォーマンスが向上します。

3. 環境報告(環境コミュニケーション)に取り組めます

エコアクション21では、環境への取り組みの結果を「環境活動レポート」としてまとめ、公表します。事業者が環境への取り組み状況等を公表する環境報告は、自らの環境への取り組みを推進し、さらには社会からの信頼を得て、企業がより発展していくための重要な方法の一つです。

エコアクション21 CO₂削減プログラム (Eco-CRIP) 実証事業開始

Eco-CRIP とは

環境省が策定した「エコアクション21 CO₂削減プログラム」です。

環境省では、エコアクション21を基礎に、CO₂削減に特化した簡素な環境マネジメントシステム「エコアクション21CO₂削減プログラムの手引き(2014年度試行版)」を策定しました。

本プログラムは、事業活動に省エネルギーなどの環境配慮の視点を組み込むことで、CO₂削減とコスト改善等による経営力の強化の両立を図ることを目的としており、シンプルな5つの段階を経ることで、中小事業者にも環境経営に無理なく着手していただけるよう設計されています。

平成26年度の実証事業においては、本プログラムに取り組んでいただく事業者として、環境省が300社程度の募集を7月15日から開始しました。

<http://www.env.go.jp/press/press.php?serial=18423>

省エネルギーの取組支援と適切なCO₂排出量等の計測・算定支援を行う専門家(エコアクション21審査人の中からIPSSが認定をしたエコアクション21支援相談人)を派遣し、無料でコンサルティングを行います。事業所へ直接出向いて丁寧にコンサルティングを行うので、ノウハウが少ない中小事業者の方も、無理なく継続的に取り組める内容となっています。

運用は、環境省の受託事業者である株式会社ダイナックス都市環境研究所があたります。

「エコアクション21 CO₂削減プログラムの手引き(2014年度試行版)」は、次のURLをご参照ください。

<http://www.ea21.jp/eco-crip-2014.pdf>

編集後記

会員及びEA21認証・登録の事業者様など、皆様のご活動の様子を、是非ともお寄せ下さい。原稿は、行事に関する簡単な説明文とスナップ写真を添えて下さると幸いです。メールで、岐阜環境カウンセラー協議会事務局あて(鈴木)に送って下さい。また、今後の活動計画やイベント、会員及びEA21認証・登録の事業者様などに関心のありそうな講演会等のお知らせも結構です。新聞やチラシ、インターネット等で知り得た情報をお寄せ下さい。お待ちしております。

発行 : NPO法人 環境カウンセラー協議会

発行責任者 : NPO法人 環境カウンセラー協議会 理事長 堀江 孝男

・NPO法人 岐阜環境カウンセラー協議会
住所: 〒500-8357 岐阜市六条大溝 4-12-6
(財)岐阜県環境管理技術センター内3F
電話: 058-272-0408
FAX: 058-272-0408
E-mail: gifu-ec@nifty.com
URL: <http://www.gifu-ec.jp>
窓口担当者 : 鈴木 敬彦 事務局長

・エコアクション21 地域事務局ぎふ
住所: 〒500-8357 岐阜市六条大溝 4-12-6
(財)環境管理技術センター内 3F
電話: 058-272-0408
FAX: 058-272-0408
E-mail: ea21gifu@nifty.com
URL: <http://www.gifu-ec.jp>
窓口担当者: 小倉 竹治郎 事務局長
加藤 邦夫 事務局次長